

# 人事院に追従することなく、自主的・主体的な勧告を

## 特別区人事委員会に対し強く要請



▲特別区人事委員会要請（9月2日）

9月2日（木）9時30分から、わが組合は特別区人事委員会に対して「2021年特別区人事委員会勧告作業に関する要請」を行いました。例年ですと勧告は10月上旬に出されますが、この間、わが組合では事前に清掃職員の生活改善につながる勧告を行うよう求めています。

要請については、今般の社会情勢を鑑み、昨年引き続き四役で対応しました。わが組合からは、コロナ禍においても23区の衛生環境を守るため職務に奮闘してきていることや、公民比較方法を正しく見直し職員の賃金を適正な水準に戻すこと、さらには、今年決定年延長を始め、労使による協議が必要な事項が山積



▲組織を代表し献花する江森委員長

戦後76年目を迎えた8月15日（日）11時58分から千鳥ヶ淵戦没者墓苑にて行われた「平和を誓う集会」に東京清掃四役で参加し献花してきました。

終戦から76年という長い月日が流れ、戦争の体験を語る事ができる方々が年々少なくなってきたいます。二度と繰り返さぬよう、戦争の悲劇が忘れ去られるようなことがあってはなりません。

私たち労働組合は、戦争の記憶を語り継ぎ、平和の尊さを次世代に伝えていく任務があります。しかし、自公政権は平和主義を脅かすような動きを強めています。

私たちができるのは、唯一の戦争被爆国である日本の役割です。今後、核兵器禁止条約を有効なものとするため、日本政府に批准させるよう取組を強化していか

# 平和の尊さを次世代に

## 戦争犠牲者追悼、平和を誓う8・15集会に参加

戦後76年目を迎えた8月15日（日）11時58分から千鳥ヶ淵戦没者墓苑にて行われた「平和を誓う集会」に東京清掃四役で参加し献花してきました。

す。私たちはこれを許さず、不戦の誓いのもと、憲法に則った平和と繁栄を堅持していかなければなりません。

8月9日に長崎で開催された平和式典後の記者会見において菅総理は「核兵器禁止条約を批准する気はない」と発言しています。核保有国と非核保有国の対話の橋渡しをする役割を担うことができるのは、唯一の戦争被爆国である日本の役割です。今後、核兵器禁止条約を有効なものとするため、日本政府に批准させるよう取組を強化していか



東京清掃労働組合  
千代田区飯田橋3-9-3  
TEL (3237) 9995  
1部20円  
編集責任 企画・総務局 渡辺 歩

わが組合の綱領

- 一、われわれは健全なる自主的組織を確立し、生活諸条件を確保し、社会的地位の向上を期す。
- 二、われわれは労働の社会的意義を顕揚し、都区政の徹底的民主化を期す。
- 三、われわれは労働者階級の解放と民主主義日本を建設し、世界平和に貢献せんことを期す。

**東京清掃労働組合 第57年次自治研集会**

～あらゆるプラスチックの資源循環について考えよう～

日時: 2021年10月3日(日) 9時30分開会 (13時終了予定)

会場: 日本教育会館 3階

【当日の主な流れ】

- 10:00～講演 「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」について(仮) 環境省環境再生・資源循環局 総務課リサイクル推進室長
- 11:45～パネルディスカッション 各自治体における、プラスチック回収事業についての課題と展望

主催: 東京清掃労働組合

お知らせ

第57年次地方自治研究集会を開催(予定)

日時 10月3日(日) 9時30分～13時00分

開催場所 日本教育会館一ツ橋ホール

# 藤井准教授の新刊 第2弾

## 「ごみ収集とまちづくり ～清掃の現場から考える地方自治～」



▲藤井誠一郎准教授



この間、自治研活動等を含め、わが組合としても大変お世話になっておる藤井准教授(写真・大東文化大学)。その藤井准教授がこの度、清掃業務に特化した著書「ごみ収集とまちづくり」を執筆し、第2弾として朝日選書から発売となりました。

今回の内容は、ごみ収集という清掃事業の奥深さを伝えるとともに、清掃事業を体系的に理解するための手がかりを提示しています。また、コロナ禍での北区清掃事務所における作業経験や新宿2丁目での参与観察などを通して、現場で活躍している人々を写すとともに、清掃行政や清掃差別の実態に迫った著書となっています。

組合員にはぜひ読んで頂きたい一冊です。役員は、区民や議会対応、また当局交渉に活用頂ければと思います。本部で購入すれば若干お安く求められますので、購入の際は支部役員を通じ、渡辺書記次長まで連絡をお願いします。(泉田 和明)

新型コロナウイルス感染症が猛威をふるう中で開催された東京オリンピックが8月8日無事に閉幕した。立場によって色々な意見がある中で開催の賛否について述べることは難しい。民主主義とは何かを考えさせられた。民主主義の原則は多数決である。

しかし、民主主義の名のもとに少数の意見を無視し、そればかりか理不尽な暴力で弾圧する国家が増えてきた。選挙こそするもの、政権批判派には立候補させない、拘束してしまふ国家が最近増えている。ロシア、ミャンマー、香港、で起きていることである。香港では、東京五輪のフェンシングで香港の選手が優勝し、表彰式で中国国歌が流れた際に国家を侮辱したとして男性一人が逮捕された。

▼平和の祭典の裏で、人権を無視した異常な弾圧が行われているのだ。いくら国際社会が反対しても成果は見えてこない。どうにもならないことがもどかしい。一度誕生した、傍若無人に振る舞う指導者を締め出すことは出来ないことを知った。せめて生み出さないようにしたいものだ。誰のための平和の祭典なのだろう。

(新宿区担当中執 飯山 悟)